

きれいで安全な プール水を提供する ためには？



通年利用のプールでは……

- ①遊泳者1人あたり**30リットル以上**の新鮮な水を補給しましょう
- ②pH(水素イオン濃度)は**6.5～7.5**を維持しましょう
- ③ORP(酸化還元電位)は**700mV以上**に設定しましょう

プールに関する海外規格で代表的なドイツ工業規格「DIN19643」は、世界で最も整備された基準といわれています。2019年度調査研究事業におきまして、上記①～③に関する基準をわが国の厚生労働省「遊泳用プールの衛生基準」と比較しました。

●ドイツ工業規格「DIN19643」と厚生労働省「遊泳用プールの衛生基準」の比較

	DIN19643	遊泳用プールの衛生基準
①新鮮水の補給	<p>水の更新のために、連続的にまたは日に1度、遊泳者1人あたり30リットル以上の水槽水が新鮮水に置換される。</p> <p>逆洗によって起こる水の交換、場合によっては塩素設備運転水量によっても起こる水の交換も水更新の計算に入れること。</p> <p>新鮮水量は毎日水量計で確認して管理日誌に記入すること。</p>	<p>新規補給水量を常に把握すること。</p> <p>プール管理日誌を作成し、新規補給水量を記録し3年以上保管すること。</p>
<p>※維持管理費縮減のために補給水量を制限すると、良好な水質は維持できません。「DIN19643」の基準を参考に適切な補給水量を確保しましょう。</p>		
②pH(水素イオン濃度)	<p>6.5～7.2 (アルミニウム系の凝集剤を使用する場合)</p> <p>6.5～7.5 (アルミニウム系の凝集剤を使用しない場合)</p>	5.8～8.6
<p>※「遊泳用プールの衛生基準」の基準値内でさらに適切な消毒効果を確保するため、「DIN19643」の基準値を目標に水質を中性に保ちましょう。</p>		
③ORP(酸化還元電位)	<p>pH6.5～7.3 : 750mV以上</p> <p>pH7.3～7.5 : 770mV以上</p>	基準値なし
<p>※「遊泳用プールの衛生基準」に記載はありませんが、ORPは水質管理を行う上で有効な指標です。「DIN19643」の基準値を目標に消毒効果を発揮しやすい水質を維持しましょう。</p>		

ドイツ工業規格「DIN19643」の基準を参考に安全で快適なプール環境を提供しましょう。

公益社団法人日本プールアメニティ協会は、プールの衛生水準およびアメニティの向上に関する各種調査事業を実施し、プール施設の衛生・安全・快適性、運営管理の向上に努めています。

